



ながしま

議会だより

NO.27



航行の難所 乳之瀬戸

海峡が狭く激しく流れる潮流。昔は上下航行する船が潮待ちするほどの難所だった。(諸浦地区)

12月定例会

(H24.12.7 ~ 12.18)

議会意見交換会	2~5
定例会で決まったこと	6~10
施策を問う(一般質問)	11~15
決算特別委員会の審査報告	16~17
常任委員会の審査報告	18~19

初めての

議会と町民との意見交換会



議員が各大字に向いて意見交換（汐見公民館）

議会、議員の政策提案の強化・拡大を図り、町民に対する説明責任を果たしたい。

長島町議会は10月26日、27日、29日、31日、11月1日の5日間の日程で議会意見交換会を実施した。議員が5人単位で3班を編成し、大字ごとに11会場に向き、会場に集まった町民301人と意見を交換した。

町民から出された意見等に会場で回答できるものは回答し、回答できなかったものは調査したうえで後日、回答することとした。

意見交換会で出された意見等の主なものは次のとおり。

▼議会関係

Q 議員定数をどう考えているか。(全会場)
A 議会活性化調査特別委員会にて調査検討中であると答弁したが、平成24年第4回議定例会で、定数は次の選挙から16を14に削減することに決定した。

Q 議員研修の目的とその成果は。(山門野)
A 研修は、議員全体による先進地研修、常任委員会の所管事務調査、特別委員会の調査研究等それぞれ目的を持って実施している。研修内容は議会だよりで報告し、その成果は町の防災計画や産業の振興策等町政発展のための提言を行っている。

Q 通年議会制についてどう考えているか。(城川内)
A メリット・デメリットを研究し、平成25年度に本島地区の実施計画を策定。統廃合の推進は、「小中学校統廃合推進協議会」で協議していく。(答申骨子・・・本島小学校4校、本島

リットを研究し、平成25年3月議会で議会基本条例を制定するまでに結論を出す予定。

Q 議員活動は何日出席しているか。(川床)
A 平成23年は定例会・臨時会で53日、常任委員会等委員会活動で82日、ほか町が設置する各種団体の会議等に委員として出席している。

▼教育関係

Q 長島本島地区の小・中学校統廃合は。(山門野・鷹巣・山門野・城川内)
A 「長島町立学校等の規模・配置の在り方検討委員会」の答申を踏まえ、平成25年度に本島地区の実施計画を策定。統廃合の推進は、「小中学校統廃合推進協議会」で協議していく。(答申骨子・・・本島小学校4校、本島

Q 屋外にいる時は防災無線が聞こえない。災害発生の伝達方法は。(平尾)
A 町の振興計画では、防災行政無線を平成25年度実施計画、平成26年度から整備の計画。町民が安心して暮らせるひとつの手段として防災行政無線の整備を行うとともに、音声で情報伝達と併せて視覚に訴える方法やエリアメールを利用した伝達も検討されている。

中学校1校)

Q 小学校閉校後の跡地活用は。(獅子島)
A 獅子島小・幣串小ごとの活用に沿った支援を考える。地元間の調整もお願いしたい。

Q 高校がなくなり、町外の高校に通っている。通学費・授業料等に対して親の負担軽減は。(平尾)
A 議会でも取り上げている。再度、町と対応していく。

▼防災関係

Q 原子力発電所事故に対する対策は。(下山門野・山門野)
A 国は原発事故が発生した場合の屋内退避などが必要な防災対策の重点区域を30キロメートル圏内に拡大。本町の一部が区域内に入っていることから、田尻地区に放射能監視

システムを設置する。具体的には県の防災計画見直し結果に基づき、町の地域防災計画を見直す。

Q 高潮の現状と対策は。(下山門野・浦底)
A 高潮被害は全国的な現象で、国でも現状把握や対策について検討している。抜本的な対策には莫大な費用が見込まれ、高潮に対する漁港の改良など補助事業が今のところ無い。

対策として、町では補助制度等の創設要望や、恒常的に浸水する個所の調査と技術的な問題の検討および台風・豪雨・津波などの災害から身を守るための避難道路、避難場所の整備、防災マップの作成し、住民に周知を図ることとしている。

Q 災害時、避難場所への誘導経路として里道の整備や本浦・葛輪間の県道バイパスの建設等の考えは。(諸浦)
A 被災地での議員視察研修を踏まえ、議会では町とともに災害に強い町づくりに努めている。ハザードマップ作成を急がせ、県道につい

ては陳情を重ね、事業の前倒しを要望する。

▼産業・道路関係
Q 農地の基盤整備と農道、畑地かんがい施設の整備を。(下山門野)
A 受益者の要望があり、同意が得られれば補助事業を活用した整備が進められる。

Q 竹林の荒廃対策として、また、土壌改良に竹パウダーが効果があると聞く。町の対策は。(下山門野)
A 果実のなる作物に対しては、糖度上昇等の効果は認められている。しかし、バレイシヨのソウカ病対策については現段階では不明であり、推進していない。

Q 赤崎ダムの水を活用したバレイシヨの防霜対策は。(下山門野)

Q 鳥獣害対策で捕獲者の育成を。(浦底)
A 町では鳥獣捕獲指導員1人、捕獲員3人を雇用し、対応にあたっては、年間500〜600頭捕獲され、生息数は減少傾向にあると思われる。今後も捕獲指導事業は継続し、捕獲ワナ等の資格取得に対する助成事業も検討する。

Q 獅子島架橋早期実現のため林道を町道・県道に格上げし、産業

振興を促進すべきでは。(獅子島)

A 現在は、林道での改良が最善として取り組まれており、時期を見て町道・県道への対策をなすべき。

産業振興はバレイシヨの産地化が進められている。また、夢追い獅子島架橋基金も創設され、国県への要望等支援する。

Q 雇用対策で七郎山山頂の環境整備、獅子島一周道路の草払いは。(獅子島)

A 緊急雇用対策事業は平成24年度で終了するので、今後は新規事業導入等の努力を町に要望する。

Q 町内の主な通りに街路灯を設置し、観光長島のイメージアップは図れないか。(鷹巣)

A 防犯灯設置は要望により対応されている

議会でも特別委員会を設置し対策を検討中である。

Q 行政機能の維持向上策について、指江庁舎は支所になるのか、支所としても事務処理できるように。(指江)

A 合併協議会の決定、行政改革推進委員会、町有施設のあり方検討委員会の答申を尊重。住民サービスの低下を招かない対策を見守る。

Q 役場・消防・診療所等公共施設を一体的に整備。(浦底)

A 合併協議会の決定、行政改革推進委員会、町有施設のあり方検討委員会の答申を尊重。住民サービスの低下を招かない対策を見守る。

▼交通関係
Q 天長フェリー船舶

が、街路灯については対応していない。特色ある街並み形成には魅力があり、町の行動を支援していく。

Q 県道平尾川床線との交差点は道幅も狭く交通量も多い。早急な着手を。(平尾)

A 早期完成を目指し、これまでどおり要望していく。
※平尾交差点から柴原間の事業実施が決定された。

Q 茅屋港から口ノ福浦港までの2キロメートルの改良工事は。(平尾)

A 集落からの同意書、測量承諾書の取りまとめを期待する。

▼観光関係

Q 高串公園を憩いの場として整備。(蔵之元)

A 高串公園の活用を

更新への支援は。(獅子島)

A 船舶の更新など将来への対応は、航路の改善対策を講じるとともに、国庫補助航路の指定を受けることが望ましい。

▼集落関係

Q 公民館チャレンジ事業の継続は。(山門野・平尾)

A 平成22年度から平成24年度までの3年間実施したが、各公民館は、さまざまな事業に取り生まれ、公民館の活性化に役立つと各地域から事業継続の要望があるため、さらに内容の検討を行い、継続の方向で進めたい。

Q 集落合併の推進は。(山門野・蔵之元)

A 強制はできない。集落間で話し合い合併を推進してほしい。

図っていくためには、景観の整備(旧施設の撤去、草払い等による遊歩道の整備等)と、人が集まる催しを行うていく必要があると考える。



整備が望まれる高串公園

▼財政関係
Q 町債残高が多いのでは。(獅子島)

A 財政諸指数および予算での町債額と公債費とのバランスは保たれている。

Q 花街道の今後の対策、将来における財政は。(蔵之元)

A 町から2団体へ委託。その他ボランティアの協力で年2〜3回植え替えしている。

雇用対策事業やふるさと納税等の予算を活用し実施。

▼生活・施設関係

Q 地元若者の定住促進対策として町営住宅の建設はできないか。(下山門野)

A 住宅の建設については、地元で用地の確保をお願いしたい。空き家を活用した「定住促進空き家活用事業」を推進し、若者の定住促進を支援している。

Q 役場庁舎利用について分庁では不便である。(獅子島・鷹巣)

A 町有施設のあり方検討委員会で答申されている。サービスの低下を招かない対策を見守る。

Q 鷹巣診療所の利便性向上対策は。(鷹巣)

A 鷹巣診療所は昭和

55年4月開業。32年余りが経過し、老朽化が進行しているが、まだ十分に活用できる施設である。

しかし、病棟(入院室)も狭く、駐車場も狭い。また、維持管理費が高んできていることも事実である。診療所は国の補助金により建設されており、新たな建設に向けては建設委員会(仮称)において協議を予定されている。

Q 長島高校跡地は県で更地にされないのか。特別な施設「刑務所」の誘致、または、役場庁舎として活用しては。(山門野・指江・蔵之元)

A 更地化については多額の費用がかかり、県は考えていない。跡地活用は町も企業誘致等いろいろな取り組みをしている。

意見交換会を終えて

各地域から多くの意見等提言をいただき、大字理事をはじめ公民館長各位のご協力に対し厚く感謝申しあげます。

特に、各地域の関心が高かった「町立小・中学校の統廃合関係」、「役場庁舎の在り方」等については、町民の意見の沿う結果となるよう今後注意深く見守り、判断する必要があると見守ります。

「川内原子力発電所に関する防災対策」も、町民の安心した生活を守るために安全確保に努めなければならぬ事項です。

「町立小・中学校の統廃合関係」については、意見の内容もそれぞれでありました。

議会としては、前述に記載したとおり、本的には教育委員会が



跡地活用を模索している長島高校跡地

平成24年度の 一般会計予算に 2億5656万

6千円を追加

総額105億9276万3千円

平成24年度の一般会計補正予算のほか、国民健康保険、国民健康保険診療施設、へき地診療施設、介護保険、簡易水道、漁業集落環境整備、特定地域生活排水、水産種苗供給、後期高齢者の9特別会計補正予算を原案可決した。

今回、計上された予算の主な事業は次のとおり。

主な事業

- 空き家活用事業補助金・・・・・・・・・・・・・1,598千円
- 自治公民館チャレンジ提案事業補助・・・・・・・・・・・・・1,000千円
- テレビ共同受信施設建設補助（葛輪、蔵之元地区）・・・・・・・・・・・・・13,175千円
- 離島航路維持に対する補助（天長フェリー）・・・・・・・・・・・・・8,236千円
- 蔵之元漁港の整備・・・・・・・・・・・・・10,000千円
- 観光施設の修繕（太陽の里トイレ、ピクニック広場）・・・・・・・・・・・・・2,457千円
- 温泉センターの修繕（東泉望、椿の湯）・・・・・・・・・・・・・1,484千円
- 浄化槽設置者に対する補助・・・・・・・・・・・・・13,286千円
- 農産加工グループ育成事業補助（片側地区）・・・・・・・・・・・・・1,325千円
- 農家救済対策としてバレイシヨ葉面散布剤の購入補助・・・・・・・・・・・・・44,182千円
- 鳥獣進入防止柵の整備補助・・・・・・・・・・・・・2,670千円
- 荒廃竹林の整備を促進し、筍生産量の増加を図る・・・・・・・・・・・・・200千円
- 補助対象外の災害復旧経費・・・・・・・・・・・・・4,649千円
- 道路用地の未買収地を購入・・・・・・・・・・・・・5,279千円
- 急傾斜地（薄井、馬込地区）の崩壊対策事業・・・・・・・・・・・・・11,000千円
- 獅子島小学校新築に伴う経費・・・・・・・・・・・・・1,707千円
- 汐見小学校校舎屋根防水工事・・・・・・・・・・・・・2,520千円
- バレイシヨ霜害被害による就学援助・・・・・・・・・・・・・797千円
- 人権教育推進のための調査研究（鷹巣中学校）・・・・・・・・・・・・・252千円
- 長島町文化ホール増改築の追加工事（電気、機械設備）・・・・・・・・・・・・・9,421千円



天長フェリーへ航路補助



芝を張るピクニック広場



汐見小学校校舎屋根を防水工事



長島町文化ホールの改修状況を調査する建設経済文教常任委員会

平成24年第4回長島町議会定例会は、12月7日から18日までの12日間の会期が開かれた。平成23年度長島町決算を認定し、平成24年度の一般会計補正予算（2億5656万6千円追加、総額105億9276万3千円）や特別会計補正予算、長島町文化ホール増改築本体工事の工事請負契約変更、長島町立学校設置条例の一部を改正する条例、レジヤランド太陽の里等施設の指定管理者の指定など議案23件、承認1件を可決、陳情2件を採択した。

このほか、長島町議会議員定数条例や長島町議会委員会条例、長島町議会議規則を委員会の発委により一部改正した。



指定管理されるレジヤールランド太陽の里

その他

指定管理者の指定

レジヤールランド太陽の里等施設を民間の知恵と活力で再興することを促すとともに、効果的な管理を図るため、株式会社エヌ・フーズ（薩摩川内市）を指定管理者として指定することを可決した。

指定期間＝平成25年4月1日～平成30年3月31日

条例

議会議員の定数削減

行財政改革の一環として、長島町議会議員の数を議会自らの提案により減らすため、長島町議会活性化調査特別委員会（池田廣委員長）の発委により、長島町議会議員定数条例の一部を改正した。

これにより、長島町議会の議員定数は16人から2削減し、14人となった。

この定数は次回選挙から適用されることになる。



町議会議員の定数を削減

条例

条例の用語等の統一

長島町の既存条例の内容、効力等に変更を生じない範囲で、用語、用字、送り仮名等を統一した表現にするため、長島町条例の用語等の統一に関する措置条例を制定した。



その他

債権の放棄

魚待養殖場土地使用料は、裁判所が財産を差し押さえ競売した債務者から、町債権を回収することができない見込みがないため、同使用料に係る債権を放棄することを可決した。



債権を放棄する養殖場(火ノ浦)

条例

幼稚園の廃園

長島町立城川内幼稚園の廃園が教育委員会で決定されたことにより、長島町立学校設置条例の一部を改正した。



廃園となった幼稚園

認定

平成23年度長島町決算

第3回議会定例会で決算特別委員会へ付託していた平成23年度長島町一般会計および特別会計の決算を認定した。



平成23年度事業の現地調査(城川内港)

条例

議会委員会条例を改正

地方自治法の一部改正により、長島町議会委員会条例の一部を改正した。改正された主な内容は、
①議員は、少なくとも一の常任委員となる。
②委員は会期の始めに議会で選任する。
③特別委員は議会において選任し、委員会に付託された事件が議会において審議されている間在任する。

指定地域密着型サービスの基準制定

介護保険法の一部改正により、指定地域密着型サービスの事業の人員、設備、運営に関する基準を定めるため、同趣旨の条例を制定した。

指定地域密着型介護予防サービスの基準制定

介護保険法の一部改正により、指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備、運営および介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定めるため、同趣旨の条例を制定した。

介護サービス事業者の指定基準

介護保険法の一部改正により、指定地域密着型サービス事業者および指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定めるため、同趣旨の条例を制定した。

水道事業の基準制定

水道法の一部改正に伴い、布設工事監督者の設置の基準および布設工事監督者・水道技術管理者の資格の基準を定めるため、同趣旨の条例を制定した。

長島町会議規則を改正

地方自治法の一部改正により、公聴会や参考人に関することを盛り込むため、長島町議会会議規則の一部を改正した。

規則

専決処分の承認

衆議院議員選挙等の費用1238万9千円を追加した平成24年度一般会計補正予算を、専決処分することを承認した。

承認

契約

獅子島小新築工事の契約変更

獅子島小学校新築工事を小竹・長崎特定建設工事共同企業体と2億2890万円で契約締結していたが、契約金額を2億4873万5千円に増額する変更契約を締結することを可決した。



新築工事中の獅子島小学校

契約

文化ホール増改築の契約変更

長島町文化ホール増改築本体工事を(株)川床石油設備工業と9439万5千円で契約締結していたが、契約金額を1億118万2千円に増額する変更契約を締結することを可決した。



改築中の文化ホール

陳情

商工会に対する町補助金増額

長島町商工会会長古田義富氏から提出された「商工会に対する町補助金の増額に関する陳情書」は、独自の事業展開を充分検討し、商工会の活性化や本町の活性化に繋がるような対策を講じて、補助金増額の要望書を提出すべきとの意見を付して、採択した。



長島町商工会

その他

公有水面埋立免許の出願

獅子島港(湯ノ口地区)の港湾施設整備に伴う公有水面埋立の意見を、異議はなしとして公有水面法第3条第1項の規定により可決した。

総合事務組合の規約変更

鹿児島県市町村総合事務組合が共同処理する事務の一部に係る組合市町村に西之表市を加えることに伴い、鹿児島県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び同組合規約を変更することを可決した。

事務組合の規約変更

経費の支弁の方法の見直しに伴い、北薩広域行政事務組合規約を変更することを可決した。

陳情

オスプレイの沖縄配備撤回

長島町鷹巣の大田慶吾氏から提出された「オスプレイの沖縄配備を撤回させ、低空飛行訓練反対を求める意見書採択について」を採択し、同趣旨の意見書を可決した。

一般質問

一般質問 施策を問う

池田 廣 議員



災害対策を問う

池田議員

1、消防団員対策は、高齢化・過疎化が進む中で今日消防団員確保に苦勞されている分団もある。この団員確保は、
① 機能別団員の創設は 人口の減少、高齢化などで団員の定員数を確保できない場合でも消防団としての経験をもちOB団員を登用し

一次災害防止のため、機能別消防団を導入する考えは。

③ 役場職員での班編成は 現在、役場職員が団員として20名位登用されているが、一次災害

出動のため役場班を作る考えは。
④ 婦人消防団の組織創設の考えは。

2、防災マップの取組は 著しい地球環境の変

化で生態系すら変わろうとしている。ゲリラ的な風水害であったり異常な高潮災害は、いつどこで発生するかわからない。「備えあれば憂いなし」のごとく日々の検証訓練がいかに大切であるか、先の東日本大震災で立証済みである。本町での防災マップ作成状況は。

答弁 町長

1、①現時点では、団員確保はできている状態であるが、団員確保ができない時には消防団はもとより後援会町民の皆様方にご協力をお願いしたいと考えている。
②消防団としての経験をもちOB団員を活用した制度の創設に向けて研究が必要と考えている。

③役場班というようなものを編成していつでも出動ができるよう

2、全戸配布する計画だったが、南海トラフ地震の検討結果、県の防災計画で、原子力などの修正案が年度末に完成する見込みであり、また、避難道路や一時避難所などの検証をして津波避難経路マップを作成しているところなどから、新年度において国の交付金事業を活用して作成し全戸配布を考えている。

獅子島小学校合併後の教頭2人制の考えは

池田議員

創設108年(幣串小)、26年(獅子島小)を迎える両小学校が、3月には閉校となり、新しく平成25年4月には、獅子島小学校としてスタートする。閉校に向けて着々と進んでいるが、その中で、保護者は期待と不安を持っている。県教育委員会の判断であるが、合併後の教頭2人制にできないか伺う。

答弁 町長

教育長と一緒に県教育委員会と

教育長と 要望を続けていきたいと思っ



4月開校の獅子島小

一般質問

林 義明 議員



フラワーロード を利用した観光 客誘致は

林議員 本町の豊かな海、山の美しい自然や歴史的文化遺産を背景に生かしながら、石積み花壇を沿道に整備して、花卉の植栽、管理を行い、環境美化を図り、交流人口の増加と景観づくりを推進することを目的に始まったフラワーロードづくり事業が、平成23年に鹿児島県景観大賞を受賞。

対策は考えられないか、町長の考えを伺う。
答弁 町長 長島観光PR事業により、フラワーフェスタ、じゃがいも祭り、焼酎祭り、おさかな祭り、恵比寿市などのイベント開催時にあわせたツアー、みかん狩りなどの体験ツアーを実施、フラワーロードの植栽整備も進めているので、今後も町内を周遊するツアーコースを設定し、主要な観光資源として、研究し取組んでいきたいと思っている。

自治公民館チャ レンジ提案事業 の継続と新たな 事業内容は

林議員 平成22年度から特色ある集落づくりによる地域の活性化を図るため3年間の期限付きで推進されてきた。本事業は、本年度限りの補助事業、事業内容も公民館整備から郷土芸能、継承事業等幅広く利用されているので、25年度から再度地域のニーズに合った事業を継続し、柔軟に対応できる事業内容にすべきと思うが町長の考えを伺う。

答弁 町長 公民館の活性化に役立つと各地域から事業継続の声も出されているので、3年間を統括して、負担率の問題、広域的な内容の問題、公的団体の取り扱いなど地域の活

性化対策に役立つ内容を検討した上で継続拡充の方向で進めていきたいと考えている。

じゃがいもまつ りの開催内容は

林議員 じゃがいもまつりは、長島自慢のバレイショ収穫祭として、祭りを開催し、町内外の消費者へPRすることににより更に消費の拡大と知名度アップを図ることを目的に本年度から始まった。

バレイショは町内に1000ヘクタールから栽培され、町の基幹産業としてなくてはならない作物であり、ま

とを得た祭りと思う。しかし、開催状況は、目的が消費者を対象にした祭りのためか町内の生産者が少なかったようである。今後、祭りを開催するとしたら、生産者も含めた祭りにするとな

お一層の効果が出ると思われるが町長の考えを伺う。

答弁 町長 バレイショは出荷先が関東、関西地区のため県内の消費者においてはまだ十分周知されていない状況のため、消費者へのPRによる消費拡大等知名度の向上や、交流人口の拡大による地元産品のPRを図ることを目的として開催。

今後は、開催時期も検討を進め幅広くPRし、消費拡大と知名度向上を図るため定着した祭りとして取り組んでいく必要がある。時的には早春バレイショ、春バレイショを含めて、また、長島フェスタと合同の祭りにできないのか、検討させていただきたい。



5月に開催されたじゃがいもまつり

田中 正隆 議員



憩いの場、観光 拠点づくりの考 えは

田中議員 本町中央部に位置する大中岳（標高403メートル）を中心とした矢獄山、毎床、春木ヶ丘、行人岳を結ぶ散策、遊歩道等を整備して、町山岳地帯を町民憩いの場、観光拠点づくりの考えはないか。

答弁 町長 現段階では、結論は出せない状況であるが、現地を見るようにする。



大中岳山頂には、大きな石が多数並んでいる

傍聴においでください

次回定例会は **3月上旬** 開会予定です

長島町議会の本会議は公開されていて、どなたでも傍聴することができます。

次回定例会は、3月上旬の開会を予定しています。皆さんの傍聴をお待ちしています。

なお、役場ロビーや長島町ホームページでも議会中継を見ることができます。



一般質問

一般質問

古田 一博 議員



文化ホール下の町有地広場の活用方法は

古田議員 文化ホール下の広場の1階を、屋根付グラウンド・ゴルフ場に、2階を駐車場にする考えはないか。町長の考えを伺う。

長島町のグラウンド・ゴルフ会員数は、300名を超え、年々増加傾向にある。雨の日、夏場の暑い日、いつでもプレーできるグラウンド・ゴルフ場を建設し、町民の健康増進、技術向上を図り、余暇を楽しむ娯楽施設として活用できないか。

のあり方、イベント会場をどうするか、スポーツ振興を含めて、施設整備をどうするか、よく検討した上で、過疎地域促進計画に盛り込んでいくべきであると考えます。

風車を活かした観光地づくり

古田議員 春木ヶ丘から中央林道までは、通行止めであり、今後、自然エネルギーの風車を生かした観光地づくりを進め、春木ヶ丘から毎床牧場までの道路整備の考えはないか。

長島町は、現在、西日本一の風車発電が稼動しており、春木ヶ丘から風車に沿った尾根沿いの途中に、花の公園としたものをしっかりとつくり、毎床牧場の風車公園までつなぐことにより、将来に向けた新しい観光ルートができ、長島の観光ス



駐車場やグラウンド・ゴルフ場として利用されている広場

ポットの活性化につながると思うが、町長の考えを伺う。

答弁 町長 春木ヶ丘から毎床牧場までの道路整備については、これからの観光振興とし

て大きな視点から見れば、発展的な構想である。

答弁 町長 春木ヶ丘道路だけでなく、新たな自然エネルギーの産業や経済活性化の起爆剤にもなる可能性が高

く、旧両町間の連絡道路として重要と考え、県にも要望を行い最大限に努力する。

小川 武男 議員



自主防災組織への助成と避難所の充実を

小川議員 本町は、自治公民館ごとに自主防災組織があり、100%の組織率である。そこで、各組織に訓練や非常食・非常用具を常備するための助成の考えはないか。

また、各避難所に自家発電機の設置が必要と思うが考えを伺う。

交付金事業を活用 答弁 町長 自主防災組織は、実効性があり、機能する組織としていくことが大きな課題で

ある。災害時に何が必要か精査し、来年度のコミュニケーション助成事業で要望し、資機材等の整備を進めていく。活動に要する助成は、新たな自治公民館チャレンジ提案事業などを活用する事も考えている。

発電機や避難所用品の設置は、住民の安心・安全を考え、主な施設には必要性を感じており、交付金事業を活用した設置への取り組みを指示している。

東分遣所の早期建て替えを

小川議員 東分遣所の建て替えは、後期振興計画で計画されているが、住民の安心・安全を考えると、1年でも早く建設する必要があるので建設地選考委員会を設置し、早期に建設する考えはないか伺う。

分遣所建設地検討委員会を設置

答弁 町長 行政改革推進委員会では、消防組織の再編として分遣所の統合、また、町有施設のあり方検討委員会では、東分遣所は狭く老朽化しており、早急に新築する必要があるので、早急に新築する必要がある。

さらに敷地も狭く移転する必要があると答申を受けており、12月中旬に第1回の検討委員会を開催する。検討に際しては、地形的な状況や道路事情や各地域へのレスポンス・タイムなどを考慮して、建設に向けて進みたいと考えている。財源面で、分遣所の建設には補助金が出にくく、防災センターであれば補助が出る制度もあるので、今後の研究の課題である。 ※レスポンス・タイム Ⅱ 応答時間

合併中学校の建設予定地に旧長島高校跡地を

小川議員 平成29年4月から小中学校が統合し、新たな体制でスタートするが、中学校について不安がある。最終段階で、総論賛成、各論反対では問題である。

そこで、以前も質問を行ったが、旧長島高校跡地が、敷地面積・施設の状況・位置・町民感情等を考慮した時に最適地と思うが考えを伺う。

生徒の教育的見地に立って取り組む

答弁 町長 中学校の統廃合は、既存の中学校を活用する場合と、他の方法が考えられる。基本的には生徒の教育的見地に立って取り組むことが肝要であり、教育的な判断に従って決めていく。

答弁 教育長 合併中学校の位置は、現在の中学校を活用する場合と、旧長島高校を活用する場合が考えられる。

現在の中学校を活用するには、どの中学校も普通教室に不足が生じる。その解消には、財政負担が伴うので、町長部局と協議を重ねながら、通学の利便性、地域住民の意向等を勘案の上、検討していく。

- ※その他の質問 ①課の再編は考えられないか。 ②学校合併後の跡地の活用について

一般質問



老朽化している東分遣所

平成23年度 決算を審査

決算特別委員会の審査報告

第2表 収支の状況 (実質収支額)

会計別	歳入総額	歳出総額	翌年度へ繰越べき財源	実質収支額
国民健康保険特別会計	2,223,082,396	2,037,655,232	0	185,427,164
国民健康保険診療施設特別会計	435,291,058	418,377,109	0	16,913,949
へき地診療施設特別会計	68,282,934	59,707,879	0	8,575,055
介護保険特別会計	1,126,483,104	1,028,670,536	0	97,812,568
簡易水道特別会計	434,898,727	406,568,470	0	28,330,257
諸浦港埠頭特別会計	10,769,964	4,016,126	0	6,753,838
農業集落排水特別会計	74,891,872	70,818,207	0	4,073,665
漁業集落環境整備特別会計	52,917,928	51,829,839	0	1,088,089
特定地域生活排水処理特別会計	76,499,064	72,867,274	0	3,631,790
水産種苗供給特別会計	36,335,560	20,983,008	0	15,352,552
後期高齢者医療特別会計	120,414,865	120,225,831	0	189,034
合 計	4,659,867,472	4,291,719,511	0	368,147,961

※金額の欄は、各項目とも円単位で計算した額を千円未満四捨五入して計上しているため、合計額等が一致しない場合がある。

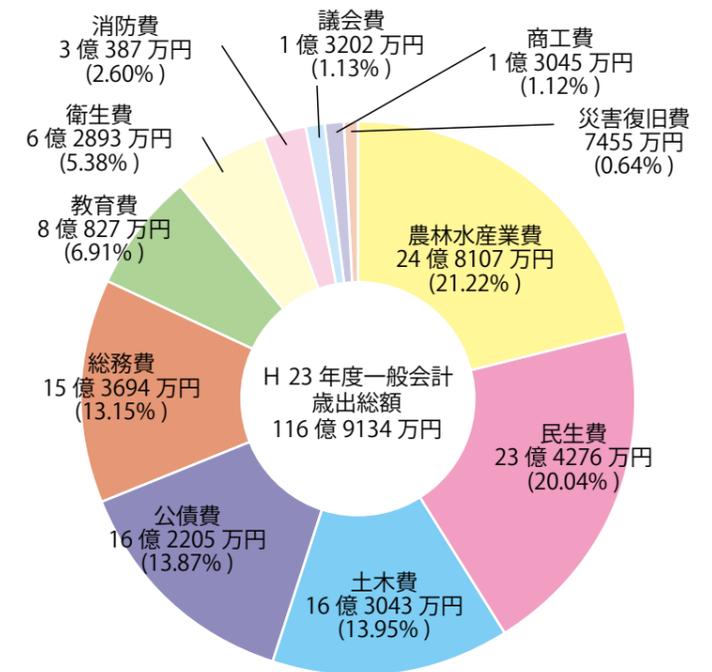
※この報告は、一般会計・特別会計の状況を記載しており、普通会計の概要を掲載してある広報ながしま1月号の報告数値とは異なる。

用語の解説

- 歳入
会計年度における地方自治体等の収入
- 歳出
会計年度における地方自治体等の支出
- 総務費
全般的な管理事務、企画調整事務、財政事務、選挙事務などの経費
- 民生費
社会福祉、身体障害者、老人福祉、児童福祉などの経費
- 衛生費
保健事業、感染症予防、廃棄物処理などの経費
- 農林水産業費
農・林・漁業振興対策の経費
- 土木費
道路、橋りょう、河川、港湾、公営住宅などの経費
- 消防費
消火、防災防除、災害時被害軽減などの経費
- 教育費
教育委員会、小・中学校、社会教育などの経費
- 公債費
事業を行うために借り入れたお金の償還金

第1表

一般会計歳出の状況 (目的別)



◎決算特別委員会委員長 川上 勇

平成24年第3回長島町議会において、決算特別委員会に付託された平成23年度長島町決算の認定についての一般会計および特別会計の決算審査の経過と結果について報告する。

○一般会計

平成23年度の一般会計の決算状況は、歳入決算総額122億6181万9000円、歳出決算総額116億9134万円、歳入歳出差引額は、5億7047万9000円で、実質収支額は、5億5953万2000円となっている。

この実質収支額には、平成22年度からの繰越金5億6373万2000円が含まれており、平成23年度の実質年度収支額は420万円の赤字決算となった。

▼歳入の決算状況
町税の収入額は、8億8157万7454円で調定に対する収入率は、97・4%、歳入の中で、構成比の最も大きい地方交付税は、49億8164万円であり、歳入全体の40・6%である。

▼歳出の決算状況

歳出の大きいのは、第1表のとおりで(目的別には)農林水産業費の24億8107万円(21・2%)、民生費の23億4276万円(20%)、土木費の16億3043万円(14%)、公債費の16億2205万円(13・9%)、総務費の15億3694万円(13・2%)の順になっている。

決算年度末の基金積立高は、44億828万6000円となっている。各種財政指数は、財政力指数0・18%、実質公債費比率は、10・1%、経常収支比率は、標準とされる

また、今後の行財政運営においてどのような改善、工夫がなされるべきかを重点に審査を行った。

政効果が発揮できたか。

75%を超えて85・6%となっており、厳しい財政状況にあるといえる。

○特別会計

特別会計の決算状況は第2表のとおり。

▼財政管理の状況

土地、建物、物品基金等については、それぞれの目的に従って適正に管理されている。

▼現地調査

行人岳線道路改良事業他14件について調査した。町民のニーズに応えて、社会資本整備に努め、その成果が上げられていると判断した。

▼まとめ

今後の財政運営について、景気回復の兆しが見られない中、限られた財源での効率的な



平成23年度に改良された小田海岸線を現地調査

事業推進が求められる中、事業の優先順位の明確化による効果的な予算支出や費用対効果の検証など、行財政改革を継続して推進されることを望む。

最後に委員会の意見として、長崎鼻灯台公園は、遊歩道や植栽事業など景観整備が進められているが、交通の利便性を高め来訪者の増加を図るため、国道389号からの進入路の整備をしてほしいとの意見。

財政に関する調査の有価証券(株券)のうち、株式会社シンワフーズに係る有価証券1750万円については、無価値であるとのことであり、適正に整理すべきとの意見であった。

以上で、審査を終り、採決の結果、平成23年度長島町決算は、決算書のとおり認定すべきものと決定した。

常任委員会の審査報告

各常任委員会の主な審議内容を紹介

総務民生常任委員会 委員長 小川 武男

▼総務課関係

問 総務管理一般経費28万8000円の内容は。

答 城川内沖座礁船撤去に係る旅費を臨時に支出したため不足が生じ、補正するものである。

弁護士への成功報酬は、相手方に町や漁協、地元住民に対する損害賠償を求めており、その中に成功報酬も含まれている。

問 多機能型消防車はどこに配備するのか。

答 日本消防協会から長島町消防団に対しての寄贈であるが、東分遣所に配備して使用する。

▼企画財政課関係

問 自治公民館チャレンジ提案事業の実施状況と今後の予定は。

答 31公民館から37件760万円の事業申請があり、申請総額が1061万4000円となり、不足するもの。主な事業は公民館の改修、太陽光発電施設の設置、竹林伐採、花壇の設置等である。

問 離島航路維持に対する補助金の内容は。

答 天長フェリー航路対策補助金823万6000円である。補助額は定額ではなく交付要綱を定め算出している。今回は、平成23年度

▼保健衛生課関係

問 介護保険特別会計予算で、住宅改修費300万円、手数料50万円、特定入所者介護サービス費1300万円増額の内容は。

答 住宅改修は、新規申請および介護度の重度化により増えている。手数料は、新規申請の増加に伴い主治医

への意見書作成依頼が増えており、作成手数料は依頼区分で金額は違うが、新規は1件当たり5000円である。

新規施設「さざ波」

のサービス費の予測がつかず地域密着型サービス費から特定入所者サービス費への組替えを行なったものである。

▼町民福祉課関係

問 障害者自立支援給付費138万円の内容は。

答 日常生活を営むのに支障がある障害者（児）が、身体障害者施設、知的障害者施設、療養介護施設等に入所または通所し、治療、養護または更正に必要な指導および訓練を行うものである。

▼診療所関係

問 獅子島診療所の医療



厳しい運営状況の川床診療所

薬材料費が増えているが現況は。

答 火曜日と金曜日の週2回、鷹巣診療所より医師等が出向いて診療にあたり、1日50人位の患者がある。また、在宅往診も行い好評である。

▼委員会所見

空き家改修事業は、古い家の再生はもちろん、その地域の定住促進が図られ、地域の活

性化にも繋がり、事業効果が上がっている。今後は、事業費の見直しも必要ではないかとの意見も出た。

川床診療所は、患者が1日に2、3人で経営的に厳しい状況である。今後は地域住民の理解と協力を得て、経営改善を図ってほしい。

建設経済文教常任委員会 委員長 下塩見 浩

▼水道課関係

問 浄化槽は、平成24年度何基設置される予定か。

答 例年80基前後であるが、今年度は、123基となっている。

問 漏水等は、どの地区が多いのか。

答 本年度11月末現在における漏水は、116件発生しており、主に、鷹巣、浦底地区が多い。

▼農林課関係

問 バレイシヨの農家救済対策について、薬液散布をして効果があつた事例はあるか。

また、JA、普及所等の意見を聞いての施策か。

答 長島の土壌にはカルシウムが不足しているため、葉面散布をして樹勢を強くすることを目的としている。

支援策については、

県、JA、集荷業者、生産者代表で組織する農業振興推進協議会を開催して、支援策を決定した。

▼教育総務課

問 汐見小学校の雨漏り対策はどうしていたか。

答 平成24年度当初予算で計上したが、雨漏りの被害が大きくなかったため見送っていた。今年度は、例年に比べ雨の日が多く、校舎の維持に支障が出る

と考え、今回の補正予算に計上した。

▼社会教育課関係

問 文化ホール改修事業で、今回の増改築の内容と完成時期は。

答 工事内容は、2階トイレの電気工事や便器手洗いなどの工事、

コミュニティルームに

映像、音響設備を新設する工事、憩いの部屋など蛍光灯をLEDに替える工事で、2月15日が工期となっている。

▼景観推進課関係

問 作業員が、私有車

を作業に使っている場合があるが、燃料費等はどのようになっているか。

答 建設課とも打ち合わせを行い、私有車を使った場合、走行距離7kmに対して146円を支払っている。

▼水産商工課関係

問 レジャーランド太陽の里は、指定管理者の契約までに早急に修理しなければならない箇所があるのか。

答 平成23年度に温泉センター施設調査について専門業者に見積

頼をし、修繕を要する箇所が7000万円程度

度あがってきた。町としては緊急を要するものについては、平成25年度当初予算で1000万円を計上する予定である。あとは、年次的に実施したいと考えている。

▼陳情

陳情第9号「商工会

に対する町補助金の増額に関する陳情」について、本町においても商工会の活性化は重要課題であると認識している。しかし、商工会も今の現状やこれから3年、5年先を見据えた、独自の事業展開を十分検討し、商工会の活性化やさらに本町の活性化に繋がるような対策を講じて、補助金増額の要望書を提出するよう全委員の意見。

陳情第9号については、採択すべきものと

▼委員会所見

県単治山事業（ミニダム）の現地調査で、ミニダムの建設について、干ばつ時の水不足を解消するためには、本町にも是非必要な施設であるので、今後このような事業を進め

るべきとの意見があつた。

本町における浄化槽

の管理面で、現在個人型設置と市町村設置型の2つの管理体制があるが、この管理体制を一本化できないか。

農家救済対策補助金について、バレイシヨは町の基幹産業の一つであり、取扱高も多いので、町としてもJAに働きかけをすべきとの要望があつた。



商工会陳情の説明を受ける常任委員会

常任委員会の審査報告



ま ち の 話 題



歌に踊りに盛り上がった会場

長島に集まって、酔って舞おう

長島の「焼酎」と「海の幸・山の幸」を味わってもらおうイベント『焼酎まつり よいまい』が10月20日、サンセット長島前駐車場で初めて開催された。

同日は、町内外から約1100人が会場に詰めかけ、焼酎を片手に魚の姿焼きや干物、そうめんなどをほおぼりながら、歌や踊り、太鼓を楽しんだ。

※よいまい＝集まれ・酔う・舞という意味

思い思いのペースで長島路を満喫

7回目を数える長島トライジョギング大会が10月28日、サンセット長島前を発着点として開催された。

大会当日は、1.5キロ、3キロ、10キロの3コースに約850人が参加。自己記録更新を目標に快走する参加者や親子仲良く触れ合いながらゴールを目指す参加者、ユニークな衣装に身を包み注目を集めながら駆け抜ける参加者など、思い思いのペースで長島路を満喫していた。



号砲とともに飛び出した参加者

◇編集後記

これまで表紙と最後の紙面だけがカラー写真であった「議会だより」が、去る9月定例会報告より全部の写真等がカラー刷りとなり、大分見やすくなったのではないのでしょうか。

これからも、皆さまのご意見を聞きながら親しまれる紙面づくりを編集委員一同目指します。

バレイシヨの作付けも進み、ビニールの被覆で真白な畑に早変わりしました。暖かい日差しとともにジャガイモの芽だし作業が忙しくなります。

足早に訪れる春とともに、本町の基幹産業のすべてが活性化して、所得の向上が図られ、豊かな町になりますよう期待しております。
(川上)

- 【編集責任者】植元 敏光
- 【編集委員長】林 義明
- 【編集副委員長】古田 一博
- 【委員】川上 勇
- 福永 伸親
- 石橋 東